


2017年 2月 27日

北名古屋市議会議長
沢田 哲 様

会派名
代表者
若しくは
議員名 阿部 武史 

視察・研修報告書

視察・研修のため出張いたしましたので、下記のとおり報告します。

記

参加議員名	阿部 武史	
日程	2017年 2月 10日 から 2月 10日 まで 1日間	
月 日	視察・研修先	視察・研修概要
2・10	名古屋市立大森中学校 名古屋市教育委員会 子ども応援室	なごや子ども応援委員会 常勤型のスクールカウンセラー等の学校・家庭・地域における 取り組みについて
.		
.		

調査の成果

「いじめ」を苦に自殺する子どもが後を絶たない。

2017年の2月だけで見ても、一宮市の中学3年生の男子生徒が大阪市内で飛び降り自殺。福島県では南相馬市の中学2年生の女子生徒が自宅で命を絶ちった。横浜市では、原発事故で自主避難した中学1年生の男子生徒が陰湿ないじめにあい、昨年11月に帰らぬ人に。いじめを受けていたこの横浜市の少年は、自宅にあった生活費をこっそり持ち出し続け、不審に思った親が学校に相談するも大して取り合ってもらえず約1年半もの間、学校側は親の訴えを放置。埒が開かないと横浜市教育委員会に「いじめ防止対策推進法」に基づく調査を要望するも、2年かけて「教育の放棄に等しい」と学校側を非難するだけだった。

一連の事件に対し、「原発いじめ」なる現象も浮かび上がる中、本市においても重篤化するいじめを始め、不登校、非行等への対応が喫緊の課題となっているため、本市が合併を検討している名古屋市の教育委員会なごや子ども応援委員会を通じ、名古屋市守山区の大森中学校に視察に行かせて頂いた。名古屋市内でも中学生がみずからの命を絶った事件をきっかけに、たまたま姉妹都市のロサンゼルスに河村たかし名古屋

市長が表敬訪問した際にアメリカのスクールカウンセラー制度に出会い「素直にパクらせてもらいましたわ」と河村市長が思い付きで始めた制度であるそうだが、いじめ問題の深刻さに鑑み、議会でも、全会一致で話が進んだようだ。スクールカウンセラーは、週に所定の時間・日数に学校に登校するケースがほとんどだが、名古屋市では常勤の専門職員が学校現場で普段から子どもと関わりながら、教員と共に、問題の未然防止、早期発見や個別支援を行い、学校を支援する体制づくりを推進している。

現場で、名古屋市教育委員会の職員さんや現場のカウンセラー・ソーシャルワーカーからお話を伺って行って一番感じたこと。それはチーム感だ。すごく、まとまっていて、何気ない教頭先生とカウンセラー達との冗談を交えたやり取りからもそれは感じられる。手探りで形作ってきた現場とそれを組織として支える仕組み、これが大変うまくいっているな、と率直に感じた。専門性をもったカウンセラー・ソーシャルワーカーが時に専門性の殻に閉じこもりがちになりそうなのを愛知県警という職場で組織を経験したポリスが重しになりつつアドバイザーが先生や地域自治会・保護者との上手な橋渡しになる。チームが生徒・教師・保護者・地域と普段の関

りコツコツと築いていることをニコニコと話す姿が大変印象的だった。

ただ、やはり現実にはシビアであり、名古屋市の担当職員の話では市でも富裕層のいる文教地区といわれる区でも貧困・格差が大変大きくなり、とある両親がおらず祖母と暮らす生徒の家庭では壁一面にゴキブリが張り付き、スクールランチ制度をとりつつもお昼ごはんを食べられなかった生徒に仕方なく祖母がお弁当を作ってあげたら、お昼に生徒がお弁当箱を開けた瞬間ゴキブリが飛び出してきて、以来、不登校になった、というケースもあるようだ。

視察の最後に、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・スクールポリス・スクールアドバイザーの方々のそれぞれに、これからの課題や展望、希望などにお話を伺ったときに「若い人がはいつてくる制度・組織・仕組みになっていってほしいし、そういうものにしていきたい」というお話を頂いた。名古屋市内の各学校の横の連携は研修や報告会などで図られているが滅多に名古屋市の職員と対面しながらそういったことを語る機会もなかなかないようで教育委員会の職員の方々にとっても新鮮なようだった。いじめ問題などの体制づくりに対する理解、カウンセラー・ソーシャルワ

一カーらをめぐる労働環境の整備も進んでいない状況だが、何もないところから仕組みを作ってきただけに、心度良く感じた。

公明党が、先日、その公式ツイッターで『問われる大人社会の本気度』とツイートし、学校現場の意識が高まるよう国のいじめ対策の基本方針を改定することを約束した。前衆議院議員で民進党の小宮山洋子元厚生労働大臣も、いじめの実態を把握し、専門家の力を活かし、子どもを守る体制を築いていくことの重要性につき促していた。大人の本気度と子どもを守るための体制づくり、そこに、今後のいじめ問題の対応のきっかけがあると実感した視察となった。本市においてもいじめ等の問題で子ども達の未来を損なうことのないよう、私自身も今回の成果を糧に、より市民生活・福祉の向上に資するようまちづくりを推進し、議会の立場から適切な政策提言ができるよう一層の向上に努めていく。

(資料等添付のこと)